

ムダに気づき、生き残れる会社を作る！

# 改善を推進する”現場リーダー”に必要なスキル・求められる役割

～生産トラブルを未然に防ぎ、利益を生む体質にする改善事例～

日時 2026年6月23日(火) 10:00～17:00  
(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 松田 龍太郎 氏  
株式会社SMC 代表取締役

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

受講効果

- 【1】リーダーの役割と責任を明確化でき、チームを牽引するための必須スキルが身につきます。
- 【2】現場に潜む「ムダ」の本質を理解し、利益を生む体質へと変える改善活動を推進できます。
- 【3】脳科学や心理学を用いた問題発見法を習得でき、現場全員で即改善できる体制を構築できます。
- 【4】メンバーのやる気を引き出す対話術を学べ、自ら考え行動する「人財」を育成できます。

## プログラム

## 1. リーダーとは？リーダーシップとは？

- 1) リーダーに求められる役割
  - 求められるリーダー像も変わってきている
- 2) リーダーシップを発揮させるためには
- 3) 目的・目標を達成するためには規律が必要
- 4) その職場の規律は、リーダーで決まる
  - 企業にとって必要な人財要件とは？

## 2. なぜ現場で改善活動が必要なのか？

- 1) モノづくりのやり方が近年激変している  
例：QDC+S（品質・納期・コスト・サービス）を決めるのは、生産者側から消費者側に
- 2) 何のために企業があり、なぜ人として生まれたのか
  - 企業も人も社会貢献ができることが使命
- 3) 企業が生き残っていくためには原価低減と価値向上が必要
  - 利益を出し、そして出し続ける体質に常に変えていくこと
- 4) 企業の利益を生み出す根源は、現場にあり

## 3. 改善活動の具体的なやり方

- 1) 今ある時間を有効活用するために、ムダの概念を知る
- 2) 時間は最も高価な資源であり、時間を自ら捻出していく
- 3) 正しい改善のやり方を学習し、練習をして身につける
  - 指導・教育・訓練 ●多能工化訓練 ●気づくための演習
- 4) 積極的に色々な体験をして自ら成長していく
- 5) 部分最適の考えや行動から全体最適を常に意識に変えていく

## 4. チームを活性化させる

- 1) 行動から“考動”が求められるこれからのリーダー像
- 2) 他責人間から自責人間に考え方を変えていく
- 3) 活性化のためのコミュニケーションスキルの向上と情報活用力
- 4) 成果を出すには、楽しくやることとチーム力の2つ
  - キーワードは、ワイガヤ方式とワークショップ方式

## 5. 現場改善の第一歩の訓練

- 1) メモを取りながら、黙ってじっくりと観察するやり方  
例：導線図、時間観察、観察する7つの着眼点（安全、作業姿勢、品質・・・）
- 2) 脳科学と心理学を応用した問題点の捉え方
- 3) 現場の全員が情報を共有化するやり方
- 4) ムダを発見し即改善する「ワークショップ方式」のやり方

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。  
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

